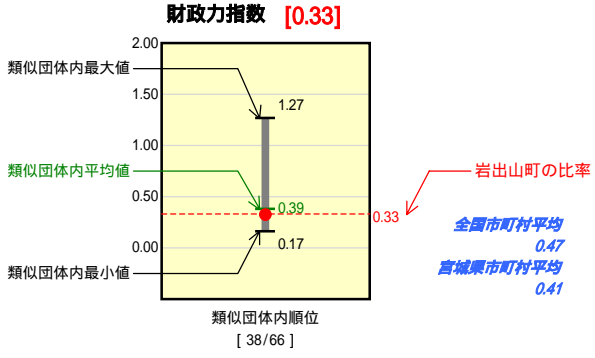


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

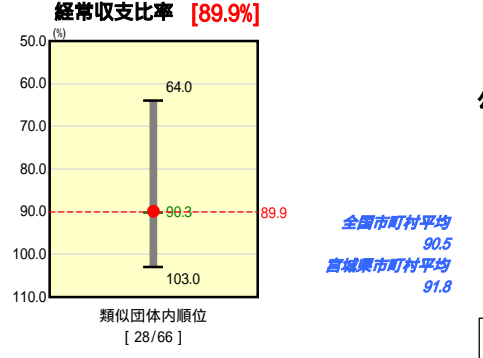
宮城県 岩出山町

人口	13,772 人(H17.3.31現在)
面積	140.70 km ²
歳入総額	5,538,953 千円
歳出総額	5,424,819 千円
実質収支	114,134 千円

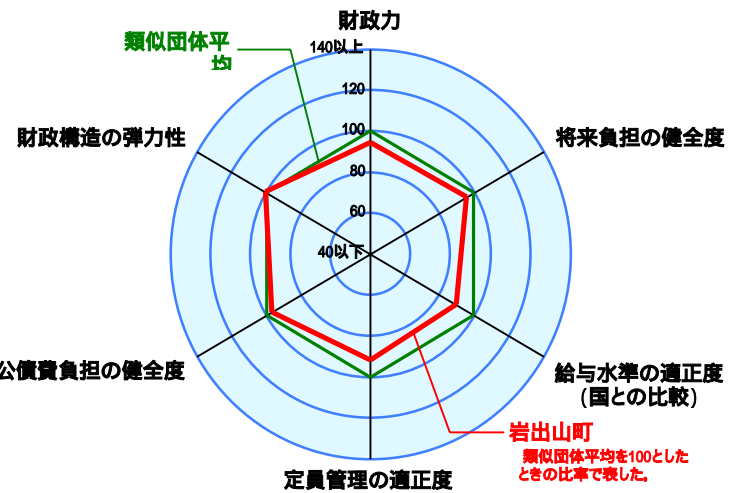
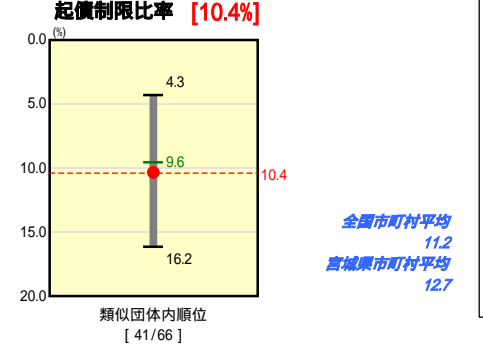
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数

- 15年度の法人税の大幅な減収は回復したものの、過疎化や人口高齢化等の影響により、課税客体の減少傾向が続いている。財政健全化計画(14年度策定)をもとに投資的経費新規事業の凍結や職員新規採用の抑制を実施しているが、平成18年3月の合併を見据えて更なる需要額の見直しを引き続き実施していく。

経常収支比率

- 10年度80.3%、14年度88.5%と5年で10%近く上昇しており、財政の硬直化が急激に進んでいる。財政健全化計画により、物件費で比率低下が見られるが、人件費・公債費(特別会計関係による移管分の増)や扶助費の増加などの要因により、前年度をさらに2.8%上回った。引き続き町税の収納率向上に努める等の自主財源確保と、事務事業の効率化による経費節減を進めて行く。

起債制限比率

- 少子高齢社会に対応するため中学校統合や福祉施設の建設、過疎化対策としての地域振興施設整備を精力的に進めてきたため、公債費の償還はピークを迎えている。過疎対策債等の交付税算入に有利な地方債を活用してきたため、比率としては全国平均を下回る。これまでに民間資金の長期借換などで負担の平準化を図るとともに、14年度以降は新規発行の抑制に努めている。

人口1,000人当たり地方債残存残高

- 地方債残高は、14年度をピークに減少傾向に転じており、事業債(減税補てん償・臨時財政対策債等を除く)では前年比で6.5百万円(9%)の減となっている。引き続き投資的経費においては、事業の厳選と実施時期の調整を進め、計画的な発行に努める。

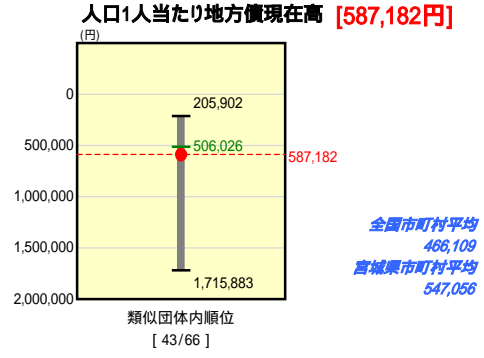
ラスパイレース指数

- 類似団体平均を3.3ポイント上回り、全国町村平均を4.2ポイント上回っている。経験年数階層の変動が要因と思われる。民間企業の状況や職務職責による観点から、住民に理解を得られるような給与の適正化に努めたい。

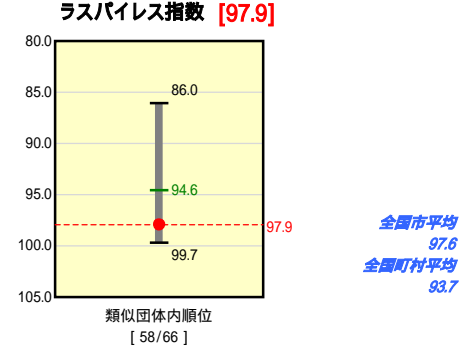
人口1,000人当たり職員数

- 15年度からの財政健全化計画に伴う退職者の不補充や組織機構改革、事務事業の見直しにより、3年間で約7%の削減を図ってきた。今後の市町村合併を踏まえて、より適切な定員管理に努めたい。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

